



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3779 URL <https://www.j-escom.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 利興
 問合せ先責任者 (役職名) 業務管理統括本部 部長 (氏名) 丸山 博之 TEL 03-5114-0761
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	377	24.8	37	—	19	—	△1	—
2025年3月期第1四半期	302	△36.8	△50	—	△9	—	△77	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△0.16	—
2025年3月期第1四半期	△6.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,188	732	27.8
2025年3月期	3,191	731	19.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 608百万円 2025年3月期 615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える不確定な要素が多く、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	11,567,990株	2025年3月期	11,567,990株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	317株	2025年3月期	317株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	11,567,673株	2025年3月期1Q	11,567,673株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調となりました。しかしながら、物価上昇に伴う個人消費の低下、米国の今後の政策動向、地政学リスクの長期化、金融資本市場の変動リスクなどもあり、先行き不透明な状況が続いています。

当社におきましては、既存事業である通信販売事業及びデジタルマーケティング事業を中心に営業黒字化を目指し、事業展開を進めております。第1四半期時点で営業黒字を計上し、新たな投資先等を検討しております。

通信販売事業におきましては、放送枠販売、番組制作・編集・素材使用、アウトバンドの売上が順調に推移しております。

デジタルマーケティング事業におきましては、前事業年度において日本のデジタルギフト事業を譲渡したことに伴い、大規模な投資が不要となりました。また韓国においては利益率の改善により、売上高は減少したものの利益率は上がっています。

広告代理事業におきましては連結子会社である株式会社J Eマーケティングが2025年4月に開催したイベントの受注収益を計上しました。継続して受注できるよう活動を行ってまいります。

その他事業のIPビジネスはファンド運営を行っており、新たな投資先等を検討することで事業の拡大を目指していく所存です。なお、当社連結グループにおけるデジタルマーケティング事業の決算数値については決算期が12月であることから、3カ月遅れで取り込むこととしております。

上記の結果、当第1四半期における業績につきましては、売上高は377,836千円(前年同四半期比24.8%増)、営業利益は37,471千円(前年同四半期は50,256千円の営業損失)、経常利益は19,338千円(前年同四半期は9,016千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,846千円(前年同四半期は77,404千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「広告代理事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、放送枠販売、制作は顧客の要望に合致したサービスの提供により堅調に推移しております。その結果当該事業における売上高は127,786千円(前年同四半期比97.4%増)となりました。

② デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、前事業年度に日本のデジタルギフト事業を譲渡したことに伴い売上高は減少しておりますが韓国において利益拡大を目指して活動を行っております。その結果、当該事業における売上高は217,779千円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

③ 広告代理事業

広告代理事業におきましては、4月にイベントを受注開催し売上高を計上しております。なお、本セグメントについては単発での受注となります。その結果、当該事業における売上高は32,017千円(前年同四半期は計上無し)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,188,626千円となり、前連結会計年度末に比べて1,003,020千円の減少となりました。流動資産は2,072,194千円となり、前連結会計年度末に比べて993,391千円の減少となりました。この減少は、主に現金及び預金366,861千円並びに前渡金449,985千円の減少によるものであります。固定資産は116,431千円となり、前連結会計年度末に比べて9,629千円の減少となりました。この減少は、主に投資その他の資産のその他のうち長期貸付金3,941千円の減少によるものであります。

流動負債は1,442,717千円となり、前連結会計年度末に比べて1,005,496千円の減少となりました。この減少は、主に前受金650,666千円の減少によるものであります。固定負債は13,085千円となり、前連結会計年度末に比べて1,003千円の増加となりました。この増加は主にその他のうち賃貸保証金1,250千円の増加によるものであります。

純資産は732,823千円となり、前連結会計年度末に比べて1,471千円の増加となりました。この増加は、主に利益剰余金1,846千円及び為替換算調整勘定5,323千円の減少並びに非支配株主持分8,641千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付「2025年3月期決算短信」で公表しております通り、当社におきましては継続的な売上高の計上になりにくいファンド組成やM&A等による手数料収入を目指している関係上、事業計画の策定が難しく、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、グループ全体での業績予想の開示を見合わせる決定をしております。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかに開示いたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。これは2023年3月期から2025年3月期まで営業損失を継続して計上していることが要因となります。

連結財務諸表提出会社である当社は、当該状況を解消すべく、既存事業の営業強化と新たな収益確保を行ってまいります。当第1四半期連結累計期間は、営業利益を計上していることから、引き続き利益の拡大を目指してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,672,990	1,306,128
売掛金	559,475	374,346
前渡金	716,216	266,230
その他	133,193	136,206
貸倒引当金	△16,290	△10,717
流動資産合計	3,065,586	2,072,194
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,378	4,378
その他	41,987	37,543
有形固定資産合計	46,365	41,921
無形固定資産	20,689	17,910
投資その他の資産		
差入保証金	23,526	22,510
繰延税金資産	7,580	7,590
その他	59,411	54,069
貸倒引当金	△31,512	△27,570
投資その他の資産合計	59,006	56,599
固定資産合計	126,061	116,431
資産合計	3,191,647	2,188,626
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,611	71,269
短期借入金	207,600	201,700
1年内返済予定の長期借入金	312,372	309,519
未払金	705,775	542,057
未払法人税等	180,659	12,553
賞与引当金	1,011	1,524
前受金	862,018	211,351
その他	92,166	92,741
流動負債合計	2,448,214	1,442,717
固定負債		
その他	12,081	13,085
固定負債合計	12,081	13,085
負債合計	2,460,295	1,455,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	376,840	376,840
利益剰余金	171,874	170,028
自己株式	△92	△92
株主資本合計	598,622	596,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,901	11,577
その他の包括利益累計額合計	16,901	11,577
新株予約権	1,007	1,007
非支配株主持分	114,821	123,463
純資産合計	731,352	732,823
負債純資産合計	3,191,647	2,188,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	302,705	377,836
売上原価	79,142	130,612
売上総利益	223,563	247,223
販売費及び一般管理費	273,819	209,752
営業利益又は営業損失(△)	△50,256	37,471
営業外収益		
受取利息	4,813	2,268
為替差益	5,441	—
債務勘定整理益	33,858	—
雑収入	526	800
営業外収益合計	44,639	3,068
営業外費用		
支払利息	2,718	4,095
為替差損	—	14,633
持分法による投資損失	—	2,307
雑損失	681	164
営業外費用合計	3,400	21,201
経常利益又は経常損失(△)	△9,016	19,338
特別損失		
貸倒引当金繰入額	68,473	—
特別損失合計	68,473	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,490	19,338
法人税、住民税及び事業税	603	12,553
法人税等調整額	26	△9
法人税等合計	629	12,544
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,120	6,794
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△716	8,641
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77,404	△1,846

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,120	6,794
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,804	△5,323
その他の包括利益合計	12,804	△5,323
四半期包括利益	△65,315	1,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,599	△7,170
非支配株主に係る四半期包括利益	△716	8,641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	通信販売 事業	デジタルマ ーケティング 事業	広告代理 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,732	237,648	—	302,381	324	302,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	224	224
計	64,732	237,648	—	302,381	548	302,930
セグメント利益(又はセグメント損失 △)	△6,695	△29,615	△101	△36,412	△7,158	△43,570

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、理美容事業、コンサルティング事業、出版関連事業、投資事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△36,412
「その他」の区分の利益	△7,158
セグメント間取引消去	20,686
全社費用(注)	△27,372
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△50,256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	通信販売 事業	デジタルマ ーケティング 事業	広告代理 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	127,786	217,779	32,017	377,583	252	377,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	224	224
計	127,786	217,779	32,017	377,583	477	378,060
セグメント利益(又はセグメント損失 △)	11,501	12,131	31,004	54,638	△6,822	47,815

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、理美容事業、コンサルティング事業、出版関連事業、投資事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	54,638
「その他」の区分の利益	△6,822
セグメント間取引消去	19,575
全社費用 (注)	△29,920
四半期連結損益計算書の営業利益	37,471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「広告代理事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準の見直しを行っております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、見直し後の配分方法に基づいて作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	4,798千円	4,324千円